

話し合い活動を通して学びを深める学習の実践～中学3年英語科～

1 はじめに

本校では、「ライフスキル教育プログラム」と「教えて考えさせる授業」を現職教育の柱として全校で取り組んでいます。この取り組みは「喜多方市の学校教育」の中で示されている指導の具体的方策としっかりリンクしています。「ライフスキル教育プログラム」では共感的人間関係を育む学級作りを進め、それを基盤として「教えて考えさせる授業」ではグループ・ディスカッション等の討論や話し合い活動の充実を通して学力向上に取り組んでいます。

2 「共感的人間関係を育む教育活動」

「喜多方市の学校教育」には「共感的人間関係を育む教育活動」として「ペア学習や相互評価等を取り入れる等、お互いのよさを認め合う場の設定」とあります。それぞれの教科で授業者がペア学習を効果的に実践できるようにするためには、学級経営の面からの環境作りも大切です。

私の実践は男女ペアでの座席配置です。



Let's Talk③ 買い物をしよう

◎説明を聞く場面では →

真剣に集中して話を聞きます。

「Would you...?」と言うとていねいに依頼する文になります。」

◎ペアで説明をし合う場面では →

説明された文法を教科書の例文にあてはめて説明します。他人に説明するためにことばを選んだり、話す順序を考えていくうちに頭の中身が再構成されて理解が深まります。



「Put this card in the box. で『このカードを箱に入れて』だよ。これは命令文だから、ていねいではないよね。Would you...? ってなると、これは疑問文だけど、質問しているんじゃないんだ。さっき説明されたように、これはていねいに依頼している文だから、Would you put this card in the box? は『このカードを箱に入れてくださいませんか。』という意味なんだよ。」



3 「知識・技能を活用する学習活動や比較・検討等，考える場の工夫や設定」

(1) アクティブ・ラーニングの実践

単元の最初に，最終的なゴールとしてこういう活動ができるようにしようという狙いを提示します。目標をもって学習に取り組むので，学習の過程で用法についての疑問や細かいニュアンスの違いなど生徒から質問が出てきます。

Project① 先生にインタビューをしよう

A L Tにインタビューをして，その内容をレポートにまとめるプロジェクトをゴールにした単元。インタビューの様子。→



Project③ ディスカッションをしよう

中学3年生では，英語でディベートに挑戦します。今回のテーマは“Lunch box or School lunch”でした。



相手の話をよく聞いて



↑こちらの主張を伝えます。

↓ユニークな反論に思わず笑いがこぼれます。



“School lunch is made by school cook.
Lunch box is made by our parents. Our
parents love us very much. They can show
their love with the lunch boxes. So we should
bring our own lunch boxes.”

“Our school cooks also love us!”



こういった授業では，目的意識をもって自ら学ぶので，内容がよく定着するようになります。

(2) グループ・ディスカッション等の討論や話し合い活動の充実

英語の読解の授業ではグループでの話し合いをよく用います。話し合いはワークシートに基づいて進められますが、各自が自力で解く問題と、グループで協力して解く問題に分けて解かせます。基本的で全員が解けるような（全員が解けるはずの）問題は、個別解決した後にお互いに答え合わせをして、答えの食い違う所を話し合わせます。複数の視点を組み合わせたり、全体の内容を理解していかなければ解けないような問題については、最初から話し合いをさせて、共に考える作業をさせます。

スキット作りはペアでやる話し合い活動として充実させることができます。

◎買い物のスキットを作る場面で

- A 「出だしは May I help you?でいいよね？」
B 「普通過ぎない？返しを工夫しようよ。」
A 「じゃあ、買うつもりがないお客とか。」
B 「うん。ただ見てるだけとかあるよね？」
A 「何て言うのかな。」
B 「見るは look だよ。」
A 「I'm looking …いや、I'm just looking.だな。
このお客に何か買わせたいね。」
B 「よし、お客がつい買っちゃう会話を考えよう。」

自分のアイディアを聞いてくれる人がいることで、アイディアを考え出す張り合いが出ます。面白いスキットができれば発表の楽しみも増します。意欲をもってスキット作りと発表に取り組むことで、よく定着するようになります。

各自で解く問題 「本文の順番に並べ替えよう」

- () キング牧師のスピーチ
- () キング牧師の夢の現在
- () 差別撤廃運動とその成果
- () ローザ・パークスさんの事件
- () アメリカ合衆国における人種差別の状況

共同で解く問題 「次の質問に答えよう」

- (1) What were some unfair laws?
- (2) How did the people of Montgomery fight for justice?
- (3) Did black people get support from any white people?
- (4) Where did Dr King make a great speech in 1963?



- A: May I help you?
B: Well...
A: What are you looking for?
B: I'm just looking.
A: Oh, great! How about this pair of glasses?
It's easy for you to see anything with these.
B: U-uh..
A: Please try them on, please...

4 おわりに

実践の紹介と言いながら、複数の授業からの抜粋になってしまいました。いずれの実践も喜多方市の学校教育の目標である「全ての子どもの『生きる力』を育む」という目標を達成するための様々な工夫や努力の足跡ですので、大元では同じ根っこに支えられているものです。「うちとは違うかな」と思われた方も、目指すゴールは一緒ですので、ご参考にしていただければ幸いです。